



日本と国連 ~日本の国連加盟 60 周年~



1 国際連合（国連）の創設……世界の平和と繁栄のために

第一次世界大戦後の1920年、世界の平和を守るために、スイスのジュネーブに国際連盟がつくられました。しかし、国際連盟の活動は、初めての普遍的な国際機関として試行錯誤の連続であり、また、米国が不参加であったことなどから、十分な役割を果たすことができず、第二次世界大戦の発生を防ぐことができませんでした。

第二次世界大戦後の1945年、悲惨な戦争が二度と起こらないよう、世界の平和と繁栄のために国際連合（国連）がつくられました。国際連盟の経験を踏まえながら、米国、ソ連、英国、フランス、中国が中心となって、国連は創設されました。その本部は米国のニューヨークにあります。

最初、51 か国だった国連加盟国は増え続け、現在では、193 か国もの国が加盟する国際機関となりました。



ミズーリ号において第二次世界大戦降伏文書に署名する重光葵外務大臣(1945年)



サンフランシスコにおける各国による国連憲章への署名 (1945年)



ユニセフの支援を受ける戦後の日本の子どもたち



1954年に日本から寄贈された「平和の鐘」（国連本部内の日本庭園に設置）

2 日本の国連加盟……2016年は日本の国連加盟 60 周年

空襲や広島、長崎への原爆投下、沖縄での地上戦など、第二次世界大戦の戦火により日本は焦土と化しました。大戦への反省に立ち、戦後、日本は平和国家として再出発しました。1951年、日本はサンフランシスコ平和条約に調印。翌年には連合国軍による占領が終わり、日本は主権を回復しました。1956年に、日本が国連に加盟したことは、戦後、日本が国際社会に復帰したことを象徴するできごとでした。

国連児童基金（ユニセフ）をはじめとする国際社会から支援され、日本は戦後復興を果たしました。その後、高度経済成長期を経て、日本は支援される側から支援する側となり、政府開発援助（ODA）によって発展途上国を支援するなど、積極的な国際貢献を行ってきました。特に、日本は1990年代を通じて、ほぼ一貫して世界最大の援助国でした。



日本の国連加盟国旗掲揚に立ち会う重光葵外務大臣 (1956年)



ニューヨークの国連本部

3 国連の組織と働き……ほぼ全ての国（193 カ国）が参加する普遍的な国際機関

国連には、次のような主要機関があり、それぞれの役割を果たしています。

(1) 総会……全加盟国が1国1票を持ち、国連の活動全般について討議、勧告します。総会が扱う議題は非常に幅広いですが、例えば、防災もその一つです。最近では、日本が主導して、津波防災を目的に、11月5日を「世界津波の日」とする決議が総会で採択されました。11月5日は、1854年（江戸時代）のこの日、津波が今の和歌山県をおそった際、村人の一人が稲わらに火を付けて、人々を高台に避難させて救った逸話に由来します。

(2) 安全保障理事会（安保理）……拒否権を持つ常任理事国5カ国（常時メンバー）と非常任理事国10カ国（選挙で選ばれ任期2年）から構成されています。国際社会の平和と安全を保つために主要な責任を負っています。例えば、日本の自衛隊も参加しているアフリカの南スーダンでの平和維持活動（PKO）も安保理決議に基づくものです。日本は、2016年から2年間、11回目の安保理非常任理事国を務めます。また、安保理を今日の国際社会にふさわしいものに改革するとともに、世界の平和と安全のために一層積極的に貢献すべく、常任理事国になろうと努力しています。

(3) 経済社会理事会（経社理）……経済、社会、開発、文化、人権問題などについて討議・勧告を行います。例えば、経社理のもとには1946年以来「女性の地位委員会」が設置されており、国連創設当初から女性の地位向上に努めています。

(4) 事務局……以上のような様々な役割を国連が果たしていけるよう、事務総長のもとで、国連活動にともなう事務を行い、事業を管理、実施しています。

(5) 国際司法裁判所……加盟国の間の紛争について拘束力のある判決を下したり、法的問題について拘束力のない勧告的意見を述べたりします。これまでに、国境線や海洋境界の画定や、領土主権に関する紛争など、国と国との間の様々な問題を解決してきました。2009年から2012年まで、小和田恒さんが日本人初の裁判長を務めました。上記(1)から(4)は、ニューヨークにあります。国際司法裁判所はオランダのハーグに所在しています。



UN Photo/Stephanie Holliman

総会議場

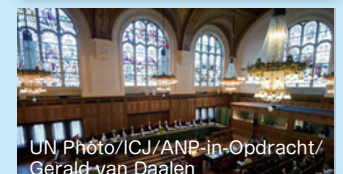
総会においては、国の大小にかかわらず1国1票です。国連が取り組む様々な分野について討議、勧告を行います。



UN Photo/Paulo Filgueiras

安保理議場

安保理常任理事国の5大国（米国、英国、フランス、ロシア、中国）には拒否権があります。そのため、これら5カ国のうち1カ国でも反対すると、安保理として意思決定ができません。これは大国が一致して、世界の平和と安全を守るための仕組みとして導入されたものですが、特に冷戦期には、東西両陣営の対立から、安保理の機能不全をもたらしました。



UN Photo/ICJ/ANP-in-Opdracht/Gerald van Daalen

国際司法裁判所

4 国連を通じた日本の貢献……国際社会が直面する課題に取り組む

国連本体の予算は、2年分を単位にして決まっており、これを通常予算といいます（2016年～2017年の2年間の予算は約54億ドル）。加盟国は通常予算への拠出を義務付けられており、各国はその国の経済力に基づいて決められた分担率にしたがって負担しています。日本の分担率は9.680%であり、米国に次いで世界第2位です。その他にも日本は、PKO予算を負担したり、様々な国連関係機関（基金、事務所、計画、専門機関など）に対して資金を拠出しています。

日本の貢献は資金面にとどまりません。日本は様々な分野において、世界が直面する課題に取り組んでいます。例えば、次のような貢献を日本は行っています。

(1) 国連平和維持活動（PKO）……国連は、世界各地で発生する紛争の解決やその後の平和への移行を支援するために、加盟国が自発的に派遣する部隊によるPKOを行っています。日本の自衛隊は1992年にカンボジアPKOに派遣されて以来、世界各地のPKOミッションに参加し、世界の平和と安全の促進に貢献してきました。自衛隊は、現在も南スーダンでのPKOに参加し、地元住民の生活に役立つインフラの整備などを行い、高い評価を得ています。

(2) 軍縮・不拡散……世界の平和と安全を守る上で、各国が持つ軍備を縮小したり、核兵器、生物兵器、化学兵器といった大量破壊兵器が広まることを防ぐことが重要です。そのため、国連は創設以来、軍縮・不拡散に取り組んできました。日本は、世界で唯一の戦争被爆国として、原爆の惨禍を再び繰り返さないよう、国連総会に核兵器廃絶決議案を毎年提出し、採択しています。また、国際原子力機関（IAEA）の事務局長を日本人が務めるなど、日本は軍縮・不拡散の分野でもリーダーシップを発揮しています。

(3) 人間の安全保障……国家が自国の安全を守ることが、伝統的な安全保障の考え方です。しかし、今日の国際社会は、貧困、紛争、テロ、感染症、環境問題、自然災害など、より多様で複雑な課題や脅威にさらされています。そういった状況において、人間一人ひとりに着目し、その安全を守り、人が尊厳をもって生きることができるよう国や社会を作っていくという考え方が「人間の安全保障」です。日本は、この考え方に基づき、開発、人道支援、テロ対策、保健、女性、気候変動、防災など様々な分野で国際貢献を行っています。

主要国の国連分担率
(2016年～2018年)

	国名	分担率
1位	米国	22.000%
2位	日本	9.680%
3位	中国	7.921%
4位	ドイツ	6.389%
5位	フランス	4.859%



出典：統合幕僚監部ホームページ



出典：統合幕僚監部ホームページ

南スーダンのPKOに参加する自衛隊（首都ジュバにおける道路整備活動）



UN Photo/DB

広島原爆ドーム ユネスコの世界遺産にも登録されています。

5 国連関係機関の働き……多くの機関が様々な専門分野で活動

(1) 総会のもとに設置された機関として、例えば、次のような機関があります。

①国連児童基金（ユニセフ）……保健、衛生、栄養、教育など幅広い分野で子どもへの支援を行っています。戦後、日本の子どもも、脱脂粉乳の支援を受けました。日本はユニセフの主要拠出国であり、その拠出金によって、途上国の子どもたちがワクチンを接種したり、必要な栄養や安全な飲み水を得ることが可能となっています。

②国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）……紛争などで住む土地を追われた難民などに対する支援を行っています。日本人の緒方貞子さんが1991年から2000年まで、そのトップである国連難民高等弁務官を務め、活躍しました。日本はUNHCRの主要拠出国であり、その拠出金により、難民の人たちにテントや毛布、食料などを提供しています。

③人権理事会……第二次世界大戦中も、ナチスによるユダヤ人大虐殺など、深刻な人権侵害が行われました。このような歴史を反省し、国連は1948年に世界人権宣言を採択。66年には、国際人権規約を採択するなど、人権擁護に積極的に努めてきました。人権理事会は、その前身である人権委員会（1946年設立）を改革する形で、2006年に設置され、人権・基本的自由の保護・促進や、人権侵害を防止するための取組などを行っています。また、各国の人権状況の審査も実施しています。

(2) 国連と連携して個別分野の国際協力を推進するために、例えば、次のような専門機関が設置されています。

①国連教育科学文化機関（ユネスコ）……世界遺産の認定や保全で有名ですが、教育の普及や科学研究の振興など幅広い活動を行っています。ユネスコ憲章の前文には、「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という有名な言葉があります。この言葉のとおり、ユネスコは、教育、科学、文化といった知的な交流・協力を通じて、世界平和の実現を目指す機関であり、日本は、ユネスコを通じ、途上国の文化遺産の保護を促進するなど、様々な協力を行っています。

②世界保健機関（WHO）……世界の人々の健康水準の向上を目的とする機関です。近年、中東呼吸器症候群（MERS）やエボラ出血熱といった感染症が発生しましたが、グローバル化が進む今日、このような感染症への対策は一国ではできません。WHOはこういった感染症への対応も行っています。なお、エボラ出血熱対策として、日本はWHOを通じた協力の他、二国間の協力でも、医療機材や防護服などの供与や、専門家の派遣など、様々な支援を実施しました。



UNHCR/P. Mountziis
国連難民高等弁務官として、世界中の紛争地などを飛び回り、難民支援に尽力した緒方貞子さん



姫路市提供
日本において最初にユネスコの世界遺産に登録されたのは、世界最古の現存木造建築である法隆寺と、白鷺城として名高い姫路城であり、1993年に登録されました。



日本によるコートジボワールの空港へのサーモグラフィーの供与。熱のある旅行者を発見することでエボラ出血熱の感染拡大を防ぐことに貢献しました。

6 今よりも世界を良くするためには？

国連は「より強い国連、より良い世界」というスローガンを掲げて、これまで以上に世界のために貢献しようとしています。また、日本は、国連加盟 60 周年を迎える 2016 年 1 月、加盟国最多の 11 回目となる安保理非常任理事国入りを果たし、より積極的に、国連を通じて国際社会のために貢献しようとしています。

私たちの生きる世界には様々な課題があります。それらの課題を解決するために、一体どんなことができるか、アイデアを出し合って、議論してみましょう。

例えば、世界には次のような課題があります。

(1) 貧困……世界銀行の統計によれば、世界には 1 日 1.25 ドル未満で生活する人が約 12 億人もいます (2012 年)。貧困の原因は様々ですが、戦争や紛争で国が安定しない、教育が十分でない、富が公平に再配分されていないといった理由があります。⇒では、どうすれば、貧困をなくすことができるでしょうか。国連が取り組んでいる「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」についても調べてみましょう。

(2) 気候変動……二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が地球の気温を上昇させています。気候変動は異常気象や海面上昇を引き起こし、人間の生活を脅かします。他方で、私たちの暮らしは、温室効果ガスの発生につながるエネルギーの消費ともないます。⇒では、どうすれば、生活水準を保ちながら、温室効果ガスの排出を減らすことができるでしょうか。また、先進国と途上国の立場の違いについて調べてみましょう。

他にもどんな課題があるか調べ、どのような解決方法があるか考えてみましょう。

7 国連で働くとしたら？

国連で働く日本人は国連職員全体の 3% にも満たない状況であり、より多くの優秀な日本人が国連で働き、活躍することが期待されています。

自分が興味をもった課題について、国連がどんなことをしているか調べてみましょう。そして、自分が国連職員として、世界の様々な国の人と協力して働くとしたら、どんなことをしてみたいか考えてみましょう。

日本の無償資金協力で建設された小学校で学ぶカメルーンの子どもたち



JICA



久野武志 / JICA

タンザニアの道路工事現場で技術指導する日本人技師



パリで開催された COP21 (国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会合) で、温室効果ガス削減に向けた新たな枠組「パリ協定」が採択されました。



JICA

日本の環境プログラム無償協力で設置されたマーシャル諸島の国立病院のソーラーパネル。日本の先端技術を活用した協力が行われています。